

ました。不審者はいろんな場所に出没しています。地域の目、人の目、多くの方に見てもらうことが一番の対策ではないかと考えます。

**問** 不審者情報の収集、伝達は当然のことながら慎重かつスピーディーに行わなければならないと考える。どのような形で行うのか。

**教育長** 不審者情報を受け取った学校では、市内の小・中学校や警察署などにフィクスなどを用いて情報を流しています。情報を共有し、警察署のパトロールを強化していただくことや、ふれあいパトロール隊等にも強化をお願いしています。



梶谷 洋夫

広域行政

**問** 市民に質の高い行政サービスを目指し、行政コストを下げるため、周辺自治体（名取、岩沼、巨理、山元等）と幅広い事業面で大いに広域行政を進めてはど

うか。

**市長** 質の高い行政サービス、そしてまた行政コストはできるだけ安い方がいいと、いろいろ考えがあると、思います。基本的な考え方としては、広域で対応した方がよいと思われることは必要に応じて広域対応をしていきます。

これからも、名取、岩沼、巨理、山元と2市2町で連携しながら、例えば救急医療の充実とか、あるいは国、県に対する要望活動等の広域的な課題に積極的に取り組んでいきます。

合併進めてはどうか

**問** 将来は合併に向けて進めるべきでないか。

**市長** 合併はスケールメリットが発揮できる部分はあるんですが、一方では合併したところは財政の健全度が低いところもあります。また逆に、合併しない人口が少ない自治体で市民の満足度が高いところもあります。したがって、スケールメリットが必要なものについては、広域行政で十分に行えると思っていますので、当面は岩沼市は岩沼市

なりの独自の行政を行ってほしいと考えます。

割増商品券の追加販売と敬老商品券



酒井 信幸

**問** 割増商品券の追加販売に助成する金額は幾らか。

**市民経済部長** 現在のところ、商工会から要望を受けて700万円の補助金を予定しています。

商工会とどう詰める

**問** 今後、どのように岩沼市商工会と話を煮詰めていくのか。

**市長** 基本的には商工会から意見を聞き、それに対して市で支援ができるか、支援の限度はどうかを判断していきます。追加要望では3割増で2、000セツトと聞いていますので、事務経費（印刷代含む）を含み700万円程度を補正予算として計上しました。

**問** 発売する時、市役所が場所を提供する考えはあるか。

**市長** 商工会から要望があ

れば、協力できることについては当然協力したいと考えています。商工会としても前回のケース等があり、いろいろ検証されていることですので、できるだけ商工会の要望通り市として対応していきます。

**問** 敬老商品券を割増商品券と同様1、000㎡未満の店での使用に限定はできないか。

**市長** 敬老商品券については市税を財源として行っています。市の事業として行っていますので納税者である利用店舗を特に制限することは難しいのではないかと考えています。



割増商品券発売日の様子

その他の一般質問

- 長田 忠広 ▼岩沼市子ども読書活動推進計画
- ▼火葬場対策
- 大友 克寿 ▼市民対応のあり方
- ▼穴戸 幸次 地域活性化対策と取り組み
- 大友 健 ▼もう一つの駅前整備、県道停車場線（市道駅前南通線）
- ▼ごみ処理行政（新焼却場に絡めて）
- 渡辺 ふさ子 ▼新型インフルエンザ対策
- ▼緊急・経済対策
- 佐藤 一郎 ▼南部地区総合福祉施設内へのファミリーサポートセンター立ち上げ
- 高橋 孝内 ▼交通安全対策
- 後藤 一利 ▼浸水対策
- 酒井 信幸 ▼防災体制・対策
- ▼地球温暖化対策